

平成 30 年度  
学校だより



# ふぞくの風

鹿児島大学教育学部  
附属小学校

第9号

平成 31 年 1 月 31 日 発行

## 平成 31 年 が スタート ～ 3 月 の ゴール を 目指 して ～

副校長 益山 富誉

後期後半が始まり 1 か月近くが過ぎました。空気が乾燥している日が続く、1 階廊下の温湿度計にはインフルエンザ要注意のマークが点灯したままです。子どもたちの間にもインフルエンザが蔓延し、30 名前後の欠席が続いています。手洗い・うがいの励行と空気の入換えが予防の第一歩です。一つの心掛けが自分を守ります。

今年の十二支は「亥」です。十二支に因んですぐに思い浮かぶのが猪突猛進です。やみくもに走り出すのではなく、物事をしっかり考え、目標に向かって突き進んでいきましょう。 また今年、島津義弘没後 400 年でもあります。勇猛果敢な人柄で知られていますが、人情深い面をもっていた武将です。そこに生き方について学ぶところがあります。

附属の子どもたちは何事にも自分の持てる力を遺憾なく発揮できます。これまでも行事ごとに、多くの方々に感動を与え、成果を上げることができました。一人一人が 3 月までに学びを整理し、確実に自分のものにできるように私たちが支援していきます。平成 31 年も子どもたちのために精一杯取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

## 未来を拓くための自分らしい生き方・役割に関する取組

### ● 附属プライドをもって ～通学子ども会マナーアップ期間～【責任感・自己肯定感】

1 月 16 日（水）～18 日（金）に登下校時のルールやマナーの向上を目的としてマナーアップ期間が行われました。今回のマナーアップ期間に向けて各通子会の班長が集まり学校全体での取組について話し合いました。そして、電車の中では静かにする等の落ち着いた登下校をするためには「しっかり立ち止まって門札をする」ことで行動にブレーキをかけようという意見にまとまりました。そして、通子会班長が当番制で、朝、正門に立ち自作のポスターを持ちながら呼びかけたり、給食時間に「登下校のよいところ」等を放送で紹介したりする活動に取り組むことで、しっかり立ち止まって門札する子が増え、落ち着いた登下校につながってきています。

このような、自分たちでよりよい学校を築こうとする自治的活動は、課題解決するために様々な意見の合意形成を図り意思決定することで自分の考えを広げたり、自分のよさやがんばりに気付き自己肯定感を高めたりすることにつながると考えます。



【しっかり立ち止まって門札をして下校しようとする様子】

### ● 試行錯誤を重ねて～3年生のぞみ学習～【責任感・協調性】

3 年生は、「ふぞくたんけんたい 山へ行く」というのぞみ学習で、松元地区にある雑木林を利用して秘密基地づくりを行う活動を通して、鹿児島の自然とのかかわりを深めてきました。自然が相手の秘密基地づくりでは、自分たちの計画通りにはいかないところも多くありましたが、友達と知恵を出し合いながら計画を修正し、自然を生かした秘密基地をつくることができました。

このような学習は、生活する中で困難なことにぶつかった時には、友達と話し合って活動を変更し、試行錯誤しながら目標達成に向けて粘り強く取り組んでいこうとする態度の育成につながると考えます。



【秘密基地に必要な材料を加工する様子】

#### ～子どもの日記から～

里山の基地づくりでは、基地にベンチ、ブランコ、ハンモックも作りました。たくさん失敗もしたけれど、友達と協力しながら工夫していくことで完成することができました。失敗してもあきらめずにがんばることが大切だと思いました。（3 年女児）

### ● 自分たちで育てたよ～4年生のぞみ学習～【責任感・協調性】

これまで 4 年生は、「かごんま！うんまか！わっはっは！」というのぞみ学習では、サツマイモや桜島大根を栽培し、それらを収穫、調理して味わう活動を行っています。サツマイモは、すでに収穫を終えました。1 月中旬には、桜島大根の収穫を行い、大きいものでは約 14 kg もある桜島大根を数名で抱えながら運んでいる誇らしげな姿が、とても印象的でした。

子どもたちは、鹿児島県の特産品を友達と協力しながら育てたり、調理したりすることを通して生産の苦労や土地の特徴を知ることができました。そのことが、食材を生産する方々への感謝の気持ちをもつとともに、鹿児島の食文化の豊かさを実感することにつながると考えます。



【収穫の喜びを味わう様子】

#### ～子どもの日記から～

ぼくは、初めて自分で育てたものを自分で料理して食べました。サツマイモを育てるために草取り等がとても大変でした。自分でやってみて、作物を育てている人や料理を作ってくくださる方は、すごいなあと思いました。（4 年男児）

### ● ソニー子ども科学教育プログラム最優秀校受賞

ソニー教育財団では、子どもたちの「なぜ?」「どうして?」を大切に育て、「豊かな感性」と「創造性」そして、「主体性」を育ていくための教育実践を募集していました。この募集に本校は、理科部を中心に毎年実践を応募しております。今年度は、全国の小・中学校 172 件の応募の中から、本校が最優秀校に決定しました。このことを励みに、今後も全ての教育活動において子どもたちの「なぜ」「どうして」を大切にしたい教育活動を展開していきます。



【ICT機器を活用しながら課題解決を行う様子】

#### 【2 月の主な行事】

8 日（金）事前研究会①、火曜校時  
13 日（水）事前研究会②  
P T A 総務部会・理事会  
P T A 合同専門部会

21 日（木）音楽発表会（宝山ホール、午前中）  
27 日（水）6 年図書貸出最終日  
28 日（木）6 年図書返却期間（～3/1）  
学校評議委員会